

大分県新長期総合計画策定県民会議 第4回元気部会 委員発言要旨

日時：令和6年5月16日(木)10:00～12:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

No.	項目	発言要旨
1	元気1 (1) 農業	・大型トラクター等を導入しても、農道が狭く離合できないような場所がある。農業を後世に残していくためには、農道の整備もしっかりとやっていく必要がある。
2	元気1 (1) 農業	・自社で園芸品目の作付けを開始したことで業績が伸びたこともあり、園芸品目への転換は非常に大事だと感じている。 ・ただ、農家の方に園芸品目の栽培技術等が行き届いていないと感じる。県庁HP等での周知だけでなく、振興局の職員が自ら現場に足を運ぶなど、積極的に発信して欲しい。
3	元気1 (2) 林業	・複数の事業体で作業に従事したり、林業と他の業種を掛け持ちしたりする「マルチフォレスター」という就業スタイルがある。担い手確保に向けて、こうした働き方と雇用条件をすり合わせて支援していくような仕組みができていくとよい。 ・一方で、日本の森林は急傾斜地が多く、そうした場所での作業には高度な技術が必要。技術継承と働き方改革のバランスをとりながら進めていくことが大事。
4	元気1 (1) (2) (3) 農林 水産業	・農林水産業の生産性向上を測定していくためにも、DXやスマート化に関連する目標指標を追加してはどうか。
5	元気2 (1) 中小 企業	・「経営革新計画の承認件数」を目標指標に掲げているが、承認後にどのくらいの企業が計画どおりに実行できているかなど、フォローアップの視点に立った指標が必要ではないか。
6	元気2 (1) 中小 企業	・目標指標「経営革新計画承認件数」は、意欲的で素晴らしいと思う。計画の内容、質の面にもしっかりと目配せしていただきながら、引き続き支援してほしい。
7	元気2 (1) 中小 企業	・中小企業振興については、10年先の変化を見据えて目標指標を設定することは非常に難しい。計画期間中に常に見直していくことを前提に、目標指標を設定すべきだと思う。
8	元気2 (1) 中小 企業	・目標指標の設定にあたっては、本県のモデルとなるような地域があるならば、その地域の指標を持つてくることも一つの手だと思う。ターゲットをはっきりさせることで、県が10年後に目指す目標が具体的にイメージしやすくなるのではないか。
9	元気3 (1) 観光	・DXを活用して世界に情報発信することが大事。DXにより、県産品や素晴らしい風景など、大分県にしかない魅力を効果的に世界にPRできる。
10	元気3 (2) 観光	・県内の観光事業者が倒産した際に、県外資本の企業が買収するケースが目につく。創業支援も大事だが、県内企業による事業承継が進むような取組も必要。

No.	項目	発言要旨
11	元気3 (2) 観光	・シェアサイクルでは、GPSから利用者の行動データを取得できるサービスも提供されている。地域ごとの観光客の行動データを取り、どこに行ったか等を見える化し、それを広く情報共有・発信するような仕組みがあれば、地域に落ちてくる観光消費額も大きくなっていくと思う。
12	元気4 (2) 外国人	・目標指標「日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別の教育課程による指導を受けている児童生徒の割合」を追加し、外国人のこどもに対する言語教育の充実度を測定してはどうか。 ・指標の事務局案は、労働者目線・成人目線であり、彼らと生活を共にするこどもたちへの目線が欠けている。APUの2000年開設から四半世紀が過ぎようとしており県内で起業等した留学生の活躍、さらにはそのこどもたちの将来の活躍のためにはこどもたちへの日本語教育の充実をセットで考えなければならない。
13	元気4 (2) 外国人	・東京や大阪はインターナショナルスクールが充実している。大分県でもそういった部分が充実すると、外国人が住みたいと思ってくれる県になると思う。
14	元気5 (1) 女性 活躍	・ものづくり分野において、もっと女性が活躍できるよう、資格取得の支援等を一層充実してほしい。
15	元気5 (1) 女性 活躍	・女性という言葉がいつまで使うのかは今後の課題。5年後の計画見直しの際には、「女性が輝く」という言葉そのものがなくなることが理想。
16	元気6 (1) 芸術 文化	・目標指標に「県立美術館入場者数」を掲げているが、大分市から離れた地域で暮らす高齢者等にも、質の高い芸術文化に触れる機会を充実していくことが大事ではないか。大分市へ出かけて行って、大きなイベントを見るのは現実的ではない。機会を分散化させる視点を持ってほしい。
17	元気6 (2) 芸術 文化	・目標指標「文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画認定数」は、最終年度で12市町村となっており、ペースが遅いのではないか。スタートからの3年間で18市町村全てで認定を達成してもらいたい。
18	元気6 (2) 芸術 文化	・集客力を有する既存の観光施設を芸術文化の拠点として活用するなど、互いの垣根を越えて、観光と芸術文化を結びつけることで、新たな価値を効果的に創造することができると思う。
19	元気7 (1) スポ ーツ	・プロアスリートとして海外で競技活動をする際、やはり言葉の問題が最もストレスになる。世界に羽ばたく選手の育成にあたっては、こどもの頃から、いわば当たり前前の基準として言語能力を高めておくことも必要ではないかと思う。
20	元気7 (1) スポ ーツ	・目標を持って競技に取り組む小中学生のためにも、国民スポーツ大会は残してほしいと考えている。
21	元気7 (2) スポ ーツ	・プロスポーツチームの合宿誘致にあたっては、野球で言えば、屋内練習場などの施設面の充実が非常に重要になる。 ・併せて、本県特有の温泉を使ったりカバリーや、食の部分での栄養面のケアなど、付加価値の面も大事。